

2021年 1月発行

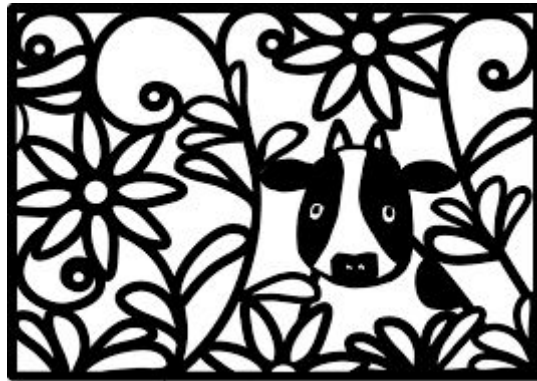
# 山梨県 桃の会

HP <https://momonokai.org> E-mail [meri-sannokuni@softbank.ne.jp](mailto:meri-sannokuni@softbank.ne.jp)

会報第76号

感謝できることに喜びを

物に溢れた豊かさの中にと  
何も感じなくなって  
見えなくなることが沢山ある  
私たちが本来持っている感性が  
弛むのだろうか・・・  
心の豊かさ、穏やかさ、想像力を失い  
人と人との関係も希薄になる  
だから少し歩みを止めて  
ほんの些細なことにも  
心を寄せて喜びを感じそのことに感謝して  
「ありがとう!」と言ってみよう



A Happy New Year !

出会う、つながる、わかちあう

KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 山梨支部



## 助けを求められる社会に

ある地域のひきこもりの研修会で地域の世話人の方が発言された

「ひきこもる人たちに関わるのはとても大変なことなのでとても荷が重い。自分たちにも生活があり楽しむこともしたい」・・・という内容だった。正直に自分の立場の責任を感じつつ思いを話されたのだと思うが、ひきこもるといふ社会現象をその「家族だけの問題」、「家族で何とかすべき」といふ思いが根底にあるような気がしてならない。

その方が言われるように根深く難しい問題であることは確かである。難しい問題だからこそ様々な人に関心を持って頂いて様々な人に関わって頂くことが必要だと思う。専門家や支援者だけが担うことではない。人ごとではなく今私達が生きている社会で起きている見逃せない社会現象で、社会を作りあげている一人一人の問題だと思う。大変な問題だからといって周りが無関心になってしまうと苦しんでいる人達は声をあげられなくなる。益々孤立社会が深刻になるだろう。

苦しみの人の心情をわかろうとする、想いを受け止めようとする、自分のできる範囲でいいと思う。周りのそういう雰囲気「助けて」と声を上げられる環境を作っていくのではないかとと思う。自分を大切にすることと人を大切にすることは表裏一体であることをいつも心に留めておきたい。

## オンライン講演を視聴して

講師 白梅学園大学教授 長谷川俊雄氏  
松山大学教授 石川良子氏

日本福祉大学と東海なでしこの会の共催のオンライン講演をなでしこの会がDVDに収録下さり視聴することができました。

なでしこの会のご厚意にはとても感謝するとともにお礼を申し上げたいと思います。

視聴後参加された家族、当事者の方々に一人ずつ感想、想いなどを伺いました。家族、当事者、支援者それぞれの立場で今自分が直面している問題を描き照らし合わせてながら真剣に現実とのすり合わせをされてたように思います。ある方が言われました。「先生たちのお話はなるほどと思うが現実に目の前にいる子供に何ができるのかわからない」と・・・。本当の気持ちを素直にお話下さったことはとても有難いことでした。一人一人にどのような表現、言葉が心に届くのか難しいことですが長谷川先生は「生きている」ということを保証することを強調されました。彼らが実存的貧困(生きる意欲を失う)に陥らない為に「生きる」為の「緩やかな」支援の必要性、〈自己決定の尊重〉〈環境と関係の変化・本人を変えようとしなさい〉をあげられました。

石川先生は彼らの「語れなさ」について、・今何やってるの?→現在・どうしてこんなことになったか?→過去・これからどうする?→未来 という自分の物語が繋がっていない内面の不安定さを存在の危機と表現されました。本当に語りたことを語れないで不安感が蓄積していくという悪循環を深く深く掘り下げてお話されました。

日頃当たり前と思っていることに「何故そうなのか?」と疑問を持つてみることの大切さをとても痛感すると共に目に見えないものを無意識に沢山置き去りにしたまま通り過ぎているのではないかという思いになりました。

このようなお話を聴く機会は私たちの中にある無意識から意識することへ方向転換する大切な時間になると思います。

長谷川先生、石川先生のお話を何度も反復しながら自分の中で理解を深めていけたらと思います。

# 当事者 Voice

## ❖当事者スペースの報告❖

2020年12月20日（日）午後1時00分～ ぴゅあ総合研修室  
参加当事者・経験者（8名）

前半は、皆で話題を出し合っのフリートーク。それぞれの悩み、語りたい趣味や好きな事など、様々な意見交換が出来た時間でした。  
後半は、一人ずつ自由にテーマを決めて順番にトークをしました。一人3分という限られた時間で、いつもの当事者会とはまた違った、深く濃密な話が出来ました。

今回の当事者スペースは、開始から早い段階で人が集まったので、いつもより楽しい会に感じました。世話人たちだけでなく、参加者と皆で会を作り上げることで楽しい場になるのだと改めて思いました。



.....Takizawa

## ♪ 当事者の詩

嗚呼、良かった！

心の中で何度も何度も云う  
わたしの中に神は居ると  
そうでもしないと気持ちが  
おさまらない



アンジュ

そしてまた確認する  
心の中に神は居ると  
そしてまたいつか 確信する  
嗚呼、良かった！

## \*\* 言いたかった！ ホンネ!!

〈何故、働かない？ 生きていく為には働かなくてはならないでしょ〉

働かないのではなくて働けないのです、  
「どう生きていくか」考えているので働くことまで考えられない、生きることが揺らいでいます。  
頭の中はメチャメチャ動いているけど体が動きません。

働く事はそんなに美的なことですか？  
働く事が楽しいと思っている人いるでしょうか。  
働く事は危険と様々な困難があることを言って欲しいです。

## ★ライン相談を利用してみよう！

対面での相談が苦手な方などどなたでもご利用ください！

相談日時 月～土曜日16時～21時  
アカウント名 やまなしひきこもり相談  
ID 403byxz  
QRコード



## ◆ 1月はミニトーク・当事者スペースを開催致します

明けましておめでとうございます。今年もどうぞ宜しくお願い致します。

令和に年号が変わりもう三回目の年を迎えました。コロナ感染が拡大する中での新年のスタートとなりましたが、皆様お元気で正月をお迎えになられたでしょうか。コロナ禍の中で「集まる」ということが難しい状況ではありますが、これからも感染予防に注意を払いながら小さな活動を続けてまいりたいと思います。

コロナ禍は地球全体の問題で誰もがリスクを背負っています。

人ごとではなく全て自分に降りかかる問題です。私達は(私自身も含めて)自身で痛みを経験することでしかそのことを理解しづらいという弱さを持っているように思います。

みんなが悩み苦痛や悲しみを味わうことで人ごとではなくなります。お互いに相手を気遣い思いやり温もりのある生活がいかに大切なことかを今一度思い起こしてみる機会を与えられているのかもしれない。自分だけを守ることは結局自分を救うことはできない、芥川龍之介の小説「蜘蛛の糸」で描かれている通りです。

試練の中で何を考え何を学ぶかは一人一人に委ねられていますが嘆き、悲しみ、怒るエネルギーをそこに根差す問題をしっかり捉え見つめていくエネルギーに変える「これから」にしていきたいものです。

今年もまた新たな気持ちで「共に悩み、共に考え、共に喜び合う会」として皆さんと共に小さいけれど熱い炎を燃やし続けていきましょう。宜しくお願い致します。

### ★ ミニグループトーク

1月17日(日) ぴゅあ総合 小研修室1 10時～ 一家族¥500 当事者は無料

皆さんの取り上げたいテーマがあればそのテーマに沿って数人のグループに分かれてグループトークをします。

\* 個人的相談もお受けします。

### ★ 当事者スペース

1月17日(日) ぴゅあ総合 美術工芸室 13時～ 参加費 無料

**\*\* 桃カフェを開きます！**

気楽に自由に・・・そこにいるだけでもOK！

#### 農園でギャザリングしよう！

画55㎡(約17坪)1年間 市民農園：1区6,000円  
場所：甲府市七沢町  
友達、家族などで一緒に畑で過ごしませんか！  
お問い合わせ：055-243-0261 (相良農園)

#### すみれ会

1月の集まりはお休みさせていただきます  
お問い合わせ：090-5416-8748 (清水)  
\* すみれ会は桃の会とは別に地域で活動している家族会です

## ◆ 2月の予定



\* ミニグループトーク 令和3年 2月20日(土) 10時～12時 ぴゅあ総合 小研修室

\* 当事者スペース 令和3年 2月20日(土) 13時～ ぴゅあ総合 小研修室

★会場ではコロナ感染には十分配慮しながら行います。マスクの着用のご協力を宜しくお願い致します。

お問い合わせ TEL&FAX 0266-55-5411 090-6190-8677 桃の会事務局